

# 2022年度 とびしまプロジェクトレポート

## 【プロジェクトの概要】

呉市豊町御手洗の重要伝統的建造物群保存地区の空き家を活用した芸術学部有志学生による展覧会と現地滞在型作品制作「アーティスト・イン・レジデンス御手洗」を実施。また、呉市立美術館と連携し、御手洗で制作した成果物を美術館で発表することにより、卒業生の支援と地域の文化芸術の発展に貢献する。

## 【プロジェクトでの成果等】

呉市豊町御手洗の重要伝統的建造物群保存地区の空き家を活用し、本学芸術学部卒業生の若手アーティストを招聘し、地域と協働したアーティスト・イン・レジデンス事業「AIR Mitarai」の運営を行っている。アーティストの現地滞在型作品制作と成果発表としてこれまで3組のアーティストを招聘し地域に作品を還元してきた。また、2020年からは、呉市立美術館「地域の芸術家支援事業」と連携し、卒業生アーティストの支援と地域の文化芸術の発展に貢献する取り組みを行っている。2022年は、作年から呉地域の歴史や文化等のリサーチを進めている招聘作家の友定睦氏が成果を発表した。美術館では呉地域の市民へ向け作家本人による作品トークも開催。



**Mutsumi Tomosada**

3.11. - 4.16. 2022

the mountain, drifting

山、漂流する

呉市立美術館

友定睦 AIR MITARAI 2022

3.21. 14:00-14:30

**the mountain, drifting 山、漂流する**

友定睦

**Art work**

**Lecture**

呉市立美術館

3.21. 14:00-14:30

呉市立美術館

また、5月のGW時期や夏休み期間中を利用し、本学芸術学部の有志学生による地域と協働した作品展示を行った。学生の展示は以下の通りである。

### 潮祭 - 広島市立大学芸術学部有志展 -

展示名「てとてと、(てん)」

展示コンセプト「祈り」

展示内容：アーティストにとって制作、作品とは一体どのような目的を持つのだろうか。

展示に集まった4人のアーティストにとって制作や作品は心に抱える悲しみや怒りを昇華するものであったり、他者や社会の変化を期待するものや自身を躍進する為のものであったりと様々である。

しかしそれらの動機には、ものを自らの手で生み出し、現状よりも更なる高みへと向かう、強い意思が共通して含まれる。この共通点是一种の“祈り”という行為に似ている。

今回の展示「てとてと、」ではそんな“祈り”をテーマに自身の制作に向き合う。そして形となった作品は手と手を合わせると生まれる純粋な心のようにその場所に力強く存在するだろう。

参加作家：

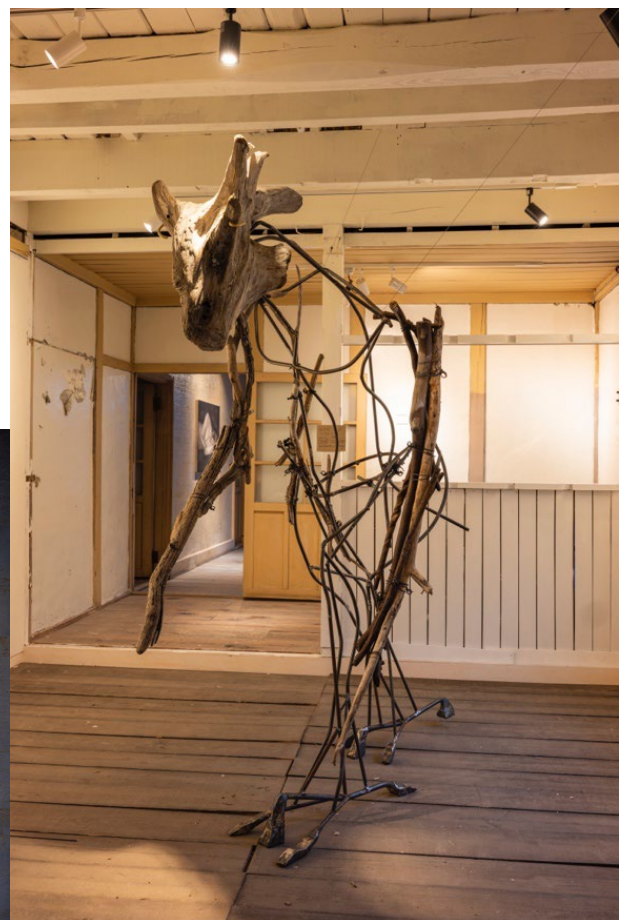
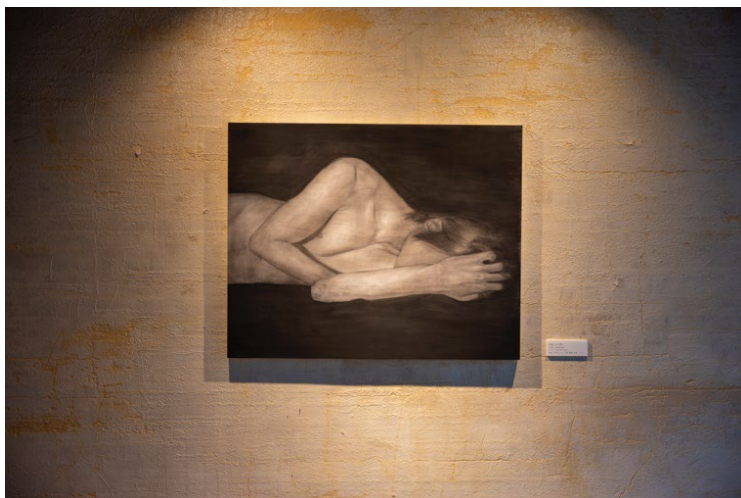
芸術学部3年油画専攻 木下若葉

芸術学部4年彫刻専攻 伊藤大寛

芸術学部4年彫刻専攻 鬼河ひなた (ナギ ソラ)

芸術学部4年彫刻専攻 中村楓佳 (ナカムラ フウカ)

入場料：無料



夏休みには、御手洗地区のリノベーション合宿「CAMP MAF」を開催。国際学部、情報科学部のまちづくりやリノベーションに興味のある有志学生12名が参加し、毎年御手洗の展覧会で活用している2つの会場（旧産婦人科医院と北川家納屋）の空間整備を目的として、4日間のリノベーション合宿を開催。期間中は、地域と交流しながら、島の保育所の子供たちに絵本の読みきかせをしたり、一般社団法人まめなプロジェクトに地域づくりのレクチャーをしていただいた。本プログラムによって日本の課題である空き家問題や地方の担い手不足の現状を現地活動や地域との交流を通じて学び、学生をはじめとする若い人達が地域の活性化に積極的に関わっていく契機となるようなプログラムとなった。

開催日時：2022年9月13日～9月16日（4日間）9:00-16:00

活動場所：MAF/マーフ（呉市豊町御手洗363）、NAYA\_KITANI（呉市豊町御手洗地区常盤通り北川家納屋）

